

星稜中学校 星稜高等学校 中高一貫教育がスタート

2017年4月、星稜中学校・星稜高等学校は中高一貫教育校に変わります。

先取り教育を特色とする中高一貫教育は、東京など大都市の私立の学校を中心に広がっています。県内初の試みとなる「中高一貫理数コース」の設置を含む星稜の中高一貫教育は、地域の学校教育に新風を吹き込むものと内外からの注目を集めています。

星稜中学校の木浦副校長と、準備室の室長を務める濱野先生に、お話をうかがいました。



木浦英三
星稜中学校副校長

濱野加代子
星稜中学校教諭

よき伝統を継承しつつ 新しい時代の要請に応える

―周囲の反応はいかがですか？

木浦副校長 先取り教育は、首都圏や大阪など大都市の中高一貫教育校では珍しくありませんが、石川県では初のケースとなります。そのため今年度は、県内全小学校の6年生にリーフレットを配布したり、新聞広告やスマホのバナー広告を出したりと、星稜中学・高校が生まれ変わることを多くの人に知っていただくことに力を入れました。小学生とその保護者を対象にした学校説明会は、夜間に行うナイト説明会を含めて計8回実施しましたが、予想以上の参加者がありました。濱野先生と一緒に県内の学習塾も訪問しましたが、興味を持っていただけたと思います。

石川県は伝統的に公立志向が強い

―逆にこれまでと「変わらない」という点がありますか？

木浦副校長 星稜といえばスポーツで全国的な知名度を誇っていますし、部活動に魅力を感じて星稜中学校を選んでいただくご家庭も少なくありません。部活動指導は引き続き積極的に行っていきます。

濱野教諭 学校のかたちは大きく変わりますが、あいさつを中心に礼儀を重んじる「しつけ教育」など、本校が大切にしてきた良き伝統は今後

も継承していきます。

―1期生が卒業する頃には、新しい大学入試が始まっています。

濱野教諭 大学入試センター試験は2020年1月(2019年度)の実施を最後に廃止され、2020年度より思考力・判断力・表現力を問う「大学入学希望者学力評価テスト」が導入されることとなります。新テストに照準を合わせて指導を行っていきます。

木浦副校長 さまざまな調査において、難関大学の合格者の多くを中高一貫校出身者が占めるというデータが出ています。1期生が大学に進学する6年後を楽しみにしています。



難関理系大学や医学部医学科への進学を目指す 「中高一貫理数コース」を新設

―中高一貫教育導入に至った背景や経緯をお聞かせください。

濱野教諭 中高一貫教育の導入は、少子化が進む中で選ばれる学校になること、また6年間かけて文武両道の教育を実践することを目的としています。3年前に検討委員会が発足し、全国の中高一貫教育校を視察するなどして、検討を進めてきました。同委員会は今年度から準備室と名称を変えて、具体的な準備を行っています。

―新たなカリキュラムや学習指導の特徴について教えてください。

濱野教諭 建学の精神のもと、「先取り教育」を取り入れた中高一貫カリキュラムを敷いています。中3から高1の学習内容に入ります。また中3から生徒の選択により、難関理系大学や医学部医学科への進学を目指す「中高一貫理数コース」を選んだ場合は、高2までに高校の学習内容をほぼ終え、最後の1年間は大学入試演習を行います。「星稜高校進学コース」を選んだ場合は、トップレベルの活躍と大学進学を目指すPコースと、従来からある3つのコースを高1の時点で選択します。当校は2クラス編成なので、一人ひとりに目が行き届くという良さもあります。個々の教員の力に加え、カリキュラムによって進学実績を出していきたいと思っています。



木浦副校長 そもそも中高一貫教育の発想は、6年間をトータルに考え、効率的でゆとりあるカリキュラムで難関大学進学を目指すというものです。けて詰め込み教育ではありません。高校受験がない分、落ち着いて勉強に集中できますし、部活動にも継続して打ち込めます。本校はもとより学校5日制を実施せず、第1・第3・第5土曜日は授業を実施しています。また月曜日は7限まで授業を行います。これにより中学の3年間で、全教科合わせて公立中学校より420時間多い授業時間を確保しています(※1)。生徒にはこの部分のゆとりを利用しながら、学校生活や学校行事も楽しめ、人間的に成長してほしいと思います。

濱野教諭 特色ある教育活動として「サイエンスプログラム」「キャリアプログラム」「グローバルプログラム」の3つのプログラムを実施する点も画期的です(※2)。

また、2017年度の新入生から1人1台タブレットPCを配布することが決まっています。授業に活用するほか、毎日の宿題配信、学校と保護者との連絡ツールとしても使用します。

※2: 特色ある教育活動

【サイエンスプログラム】(中1、中3、高1)

理科的な内容を中心に週に1回、グループごとに研究活動を行います。仮説、実験、観察、検証などを通して体験的に科学を学びます。中高一貫理数コースでは大学の研究室訪問も予定しています。

【キャリアプログラム】(中2)

体験行事への参加や職業研究などを通じて、将来の進路に対する夢とキャリアに対するイメージを膨らませます。医療現場で活躍するドクターの講演会も中学から参加できるようになります。

【グローバルプログラム】(中1～高2)

全員参加で「イングリッシュキャンプ」(中1)を行うほか、中高一貫理数コースでは約1週間のイギリス語学研修を行います(高1)。朝の時間を利用してNHKのラジオ基礎英語講座を聴くなど、コツコツと英語力を磨きます。

※1: 中学3年間の授業時間数の比較

3年間で公立中学校よりトータル420時間多い授業時間数を確保しています。

【国語】	【数学】
星稜中学校: 420時間 公立中学校: 385時間	星稜中学校: 525時間 公立中学校: 385時間
【社会】	【英語】
星稜中学校: 420時間 公立中学校: 350時間	星稜中学校: 525時間 公立中学校: 420時間
【理科】	
星稜中学校: 455時間 公立中学校: 385時間	

6年間の教育ステップとコース

